

経営比較分析表（令和4年度決算）

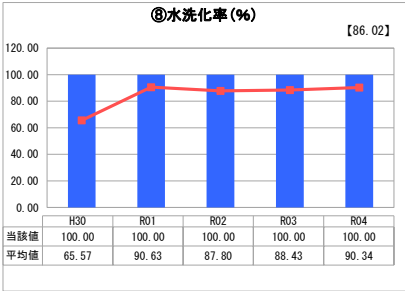
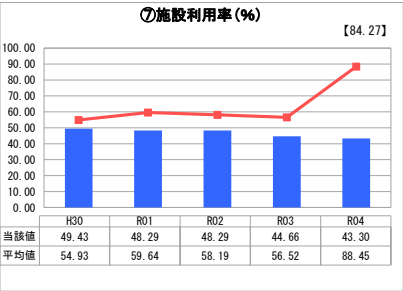
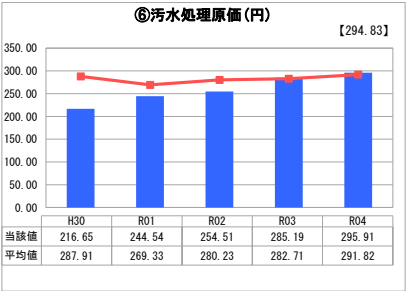
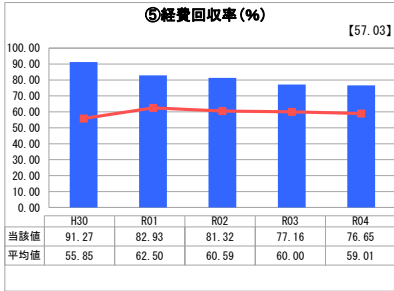
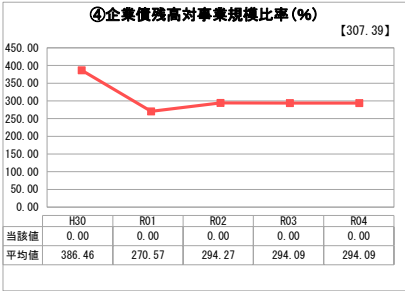
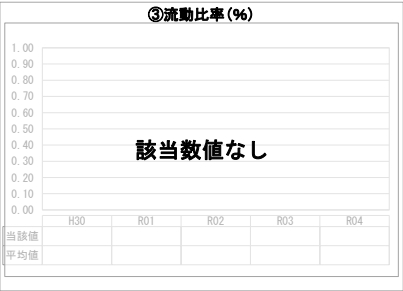
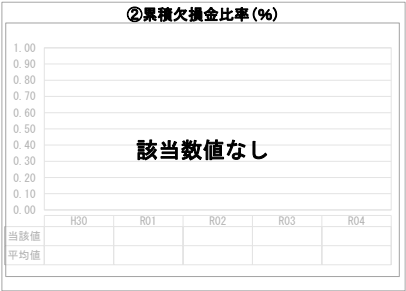
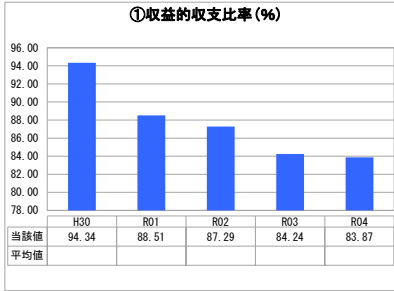
山形県 上山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	1.98	100.00	3,190

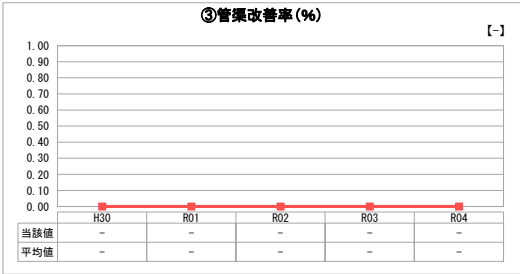
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,584	240.93	118.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
564	1.28	440.63

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

汚水処理原価の上昇、年間有収水量の減少等により、収益的収支比率の微減を招いている。
また、経費回収率は類似団体の平均値を上回っているものの100%を下回っている。
施設利用率は、類似団体の平均値を下回っており年々減少してきているが、高齢化や過疎化が進んでいることによって、世帯員数の減少や転居等により浄化槽の休廃止が続いているためと考えられる。
なお、使用料は浄化槽の規模別となっていることから、一基当たり使用人数の減少による収入上の影響はない。

2. 老朽化の状況について

平成16年度整備事業開始から18年を経過し、当市が当該事業で設置した浄化槽のほぼすべてが耐用年数に達している。
ブロウを含む駆動機器等の消耗品の不具合等については、保守点検業者と密に連携し、早急に改善するよう心がけている。
浄化槽本体や内部装置・流入配管接続部の不具合等も増加傾向にあり、特に浄化槽本体の修繕には、浄化槽メーカーによる修繕が必要となることから、日数・費用ともに嵩むため、不具合の状況・水質等を早期に見極めながら、当該箇所の修繕を計画的に行い長寿命化・機能維持を図っていく必要がある。

全体総括

浄化槽の規模に応じた使用料を設定していることから、世帯員数が減少しても安定した収入が見込め、経営上の影響は少ない。しかし、休廃止になる浄化槽が微増傾向にあり、使用料収入も途絶えることになるため、休廃止になる浄化槽を見据えた管理運営や維持管理費用低減の工夫を行う必要がある。また今後は、適正使用料の検証等も行いながら、市管理浄化槽基数の現状維持を図りつつ、健全運営を進めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。